

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



笠懸西小(仮称)建設予定地

迎春

謹んで
初春のお慶びを
申し上げます 令和3年

今回の会議では、みどり市となって初めての諮問がありました。内容はコロナ禍で公民館活動をどのように実施していくべきか、公運審としての意見、見解等を求めるものです。



▲ 諮問書を受け取る山崎委員長(左)

11月26日(木)みどり市多世代交流館多目的ホールにおいて令和2年度第2回みどり市公民館運営審議会(公運審)が開かれました。

最初に笠懸、大間々、東の各公民館長より事業の実施状況の報告がありました。

次に来年度の3館合同事業について協議され、開催時期や内容については、次回以降の会議で結論を出すことになりました。

どう「まなび」「むすび」という3つの機能をどのように維持、充実していくべきかという諮問の内容でした。中山館長より山崎委員長へ諮問書が手渡されました。公運審では令和3年11月をめどに答申をまとめることとなり、次の会議から協議を始めることになりました。

コロナ禍の公民館活動を問う 市公運審へ初めての諮問

プロのテクニクを学ぶ

新聞づくり研修会

11月24日(火)笠懸公民館視聴覚室にて新聞づくり研修会が桐生タイムス社記者高橋康之氏を講師に迎え開かれました。

笠懸公民館報編集協力員と笠懸町で新聞や広報紙などの編集に携わっている団体等の方17人が参加しました。「紙媒体の役割と記事の書き方」と題し、「パソコンやスマートフォン、SNSの普及で誰もが手軽に情報発信できる時代のアナ



▲ 実際の紙面を参考に話す高橋記者

ログ媒体の役割、地域メディアの存在意義」と、「記事の書き方、取材の仕方、見出しのつけ方、写真の撮り方、苦情や投書への対応」などのテクニクを講師の経験談や実例を織り交ぜながら、アドバイスをしていたきました。

地域の出来事を客観的に正確に伝える中に、取材をして感じた重要なことや面白いことを読み手に対してどのように伝え、共感していただくかはとても難しいことです。普段の生活の何気ないことにも面白さを見つけて、情報に敏感になることが大切です。

今、こうやって冷や汗をかきながら記事を書いている筆者も、常にフレッシュな気持ちで原稿に向き合おうと思わせる有意義な研修会でした。

今年度初めての開催!!

フラダンスを披露

みどり市笠懸公民館利用者の会主催の第125回いこいの広場が11月15日(日)笠懸公民館の交流ホールで開催されました。

この日はフラダンスサークル「カプアフラ」が約1時間、40人の来場者の前で活動の成果を披露しました。参加者は「コロナ禍の中で演技の発表の場を与えてくださり感謝しています」と話していました。



▲ 華麗なダンスを披露

新型コロナウイルスの影響で今回が今年度初めての開催となった、いこいの広

場。今回は感染対策を徹底する上で交流ホールでの開催でしたが、本来はロビー活用を促進し、公民館の「自

由なたまり場」としての機能の充実を目指すイベントです。

コロナ禍で発表の場が少なくなっている昨今、こうして人前で発表する機会は活動のモチベーションの向上につながるのではないのでしょうか。

コラム 豆電球



「チョコを食べ過ぎて鼻血?」

子どもの頃、よく母親に「チョコレートを食べ過ぎると鼻血が出るわよ」と注意されたものだ。確かに、鼻血を出したことがあるような気もするし、今でも年配者は言っているような気がする。

しかし、これは何の根拠もない話だという。鼻の内部には毛細血管が無数に走っているため、もともと出血しやすくなっているが、チョコレートと鼻血の因果関係は、今のところ証明されていないようだ。

確かにチョコレートにはカフェインや脂肪が含まれているが、いくらたくさん食べたところで、鼻血が出るほど血圧が上がるなんて、まず考えられない。

では、なぜそんな話が広まったのだろうか。

チョコレートは歴史的にみても「神々の食べ物」として珍重されてきたが、日本に輸入され始めた時にも、滋養強壮の効果が強調されたために、鼻血が出るという噂が立ったのではないかと考えられる。また、とても高価だったため、子どもにあまり与えないようにするための方便だった可能性もあるようだ。



▲ 落ち葉の中で探し物？



教室終了後も公園に残り、参加者同士で一緒にお弁当を食べるなど、楽しい時間を過ごしていました。

お母さんと一緒教室が11月13日(金)に開催されました。第5回目の今回は、5組の親子が参加し、野外活動で「子どもの森公園伊勢崎まゆドーム」へ行きました。例年はみんなでバスに乗り、野外活動先に向かいますが、今回は新型コロナウイルス

まゆドームへ 第5回

対策で現地集合となりました。天気にも恵まれ、秋空の下、公園内の滑り台や丸太渡りなどの遊具で遊びました。落ち葉が多いこの季節、公園の清掃員が落ち葉を集め山を作ってくれ、子どもたちはその中に入り、大はしゃぎで遊ぶ場面もありました。時間はあっという間に終わり、集合写真を撮り、教室は終了しました。

楽しく元気に勉強だ!!
お母さんと一緒教室

交通安全教室 第6回

第6回お母さんと一緒教室は11月20日(金)笠懸公民館の音楽室で交通安全教室が行われました。

根岸先生と一緒に秋の歌を歌った後、女性警察官と着ぐるみの「ねこちゃん」、腹話術の「あっちゃん人形」が登場。「たった一つしかない大切ないのち」につい

て話をしました。横断歩道の渡り方やシートベルトの重要性などが親子に分かりやすく説明され、その後、ハローキティの交通安全DVDが始まると子どもたちは静かに見入っていました。お話の後は外に出て、みどり市の交通指導車を見学しました。青色回転灯を点灯させたり交通安全の放送をかけてもらったり、最後はみんなで写真を撮りました。参加者には反射材が配ら



▲ 車の前で「はい、ポーズ」

れました。子どもたちの安全をみんなで見守りたいですね。

思いやりの大切さを表現

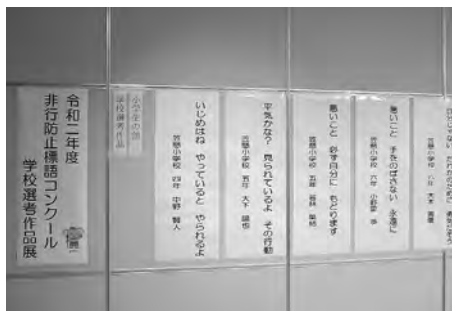
非行防止標語コンクール学校選出作品展

【最優秀賞】

- 小学生の部 「考えよう あの子が悲しむ その言葉」 笠懸小4年 飯塚 音澄さん
- 中学生の部 「SNS 便利な裏には 闇がある」 笠懸中2年 金子 天音さん

11月19日(木)から25日(水)まで笠懸公民館ふるさとギャラリーで非行防止標語コンクール学校選出作品展が行われました。

市内の小・中学校から選出された63点の作品が展示され、小・中学生それぞれ最優秀賞が1人と、優秀賞が5人選ばれました。



▲ 素晴らしい作品がたくさん並び

非行問題をどのようにして防ぎ、減らせるのかを相手の立場になり、思いやることの大切さが表現されていました。

公民館無料の原則

みどり市笠懸公民館利用者の会 vol.2

みどり市公民館条例には「公民館の利用は、これを無料とする」という一文があります。

これは、小・中学校が無料で教育を受けられるのと同じように、大人になっても学習する権利があるというものです。反対の視点から見ると解りやすいのですが、有料となったとき利用することができない人が生じます。経済格差が教育格差になつてはいけません。

「使用が数百円なら良いのでは」という意見も聞きます。現実的にはその出金は可能かも知れませんが、果たしてどうでしょう。

公民館には教育施設だけでなく、誰もが集い自由闊達な意見を交わし、仲間づくりをすることができる側面もあります。

有料化となれば、集うことの妨げになるのは明らかです。

忘れてはならないのが、無料で使えるからこそ、利用者が成すべきこともあるわけです。それは、公民館で得られた知識や技能を自分のものだけに止めるのではなく、何らかの形で社会還元をするということです。仲間をつくり知識や技能を広めていくのも良いでしょう。文化祭で成果発表するのもその一つです。無料で使える意義と、無料だからこそ成すべきことを頭の隅に置いていただけたら幸いです。



日頃の訓練が大切!!

第4回避難訓練コンサート

第4回避難訓練コンサートが11月8日(日)笠懸野文化ホール(PAL)で開催されました。

このコンサートは文化ホール職員の避難誘導訓練と職員及び地域住民の避難への意識を高めることを目的としています。群馬県総務部危機管理課、みどり市危機管理課、桐生南高等学校吹奏楽部の協力で行われました。実際のコンサート中

体と頭を使って 介護予防教室

11月10日(火)みどりふれあいサポーター主催の介護予防教室が笠懸公民館で開催されました。

この日は音楽療養士の柴崎智子さんを講師に迎え、音楽を用い脳や身体を使う内容で19人が参加しました。

に大地震が発生したと想定した訓練で、吹奏楽部の軽快な演奏の途中で緊急地震速報が流れます。まずは座席の間に身をかがめて揺れが落ち着いたらとところで観客と出演者全員がスタッフの誘導で屋外に避難しました。晴天にも恵まれ学生の時に行った避難訓練を思い出しました。スタッフも観客もこうした事態を経験しておくのは重要だと感じていた

まずは椅子に座りながらできる体操を2曲行い、音楽に合わせ肩たたきや首を回していました。

その後は、講師がホワイトボードに絵を描き、その絵から何の曲かを考え、その曲を歌いました。

ただ歌うだけではなく、鳴子や楽器を使いながら歌う場面も見られました。90歳の女性は「とても楽しくてハッピー。音が流れ



▲ 訓練の中でも癒やしの音色が響く



▲ 鳴子を手にし講師と練習

ようです。ホールに戻り危機管理課からの講評をいただき、中断されたコンサートも最後まで楽しむことができました。

れば思い出して歌えた」と笑顔で話していました。

ホールに響く音色♪ 東部アンサンブルコンテスト

群馬県東部地区吹奏楽連盟主催の第12回東部地区アンサンブルコンテストが笠懸野文化ホール(PAL)で11月14日(土)・15日(日)・23日(月)に開催されました。

中学生の部80組、高校生の部28組、一般の部2組の演奏が3日間に分けて行われました。

出場者にとっては、貴重

な数分間。金管楽器や木管楽器、打楽器などの合奏がひとつになり、優しさとか強い音色は聴く人の心に響いていました。

笠懸南中Aが金賞を受賞し、代表として第44回群馬県アンサンブルコンテストに出場します。

マスクの着用や手指と座席の消毒、短時間の鑑賞、



▲ 練習の成果を披露する笠懸中

座席の配慮等、徹底した新型コロナウイルスの感染予防対策の中、沈んだ心が和み、元気をもらったひとときを過ごしました。

いっぱい取れたよ

サトイモの収穫

岩宿の里米っこクラブが11月21日(土)に開催され、参加者11人が岩宿の里公園内の畑で、サトイモの収穫体験を行いました。

本来であれば4月にサトイモの種植えから体験する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりできませんでした。今回は古代

米を栽培する会のボランティアの皆さんが事前に種植えを行ったものを収穫することになりました。

今回は1年間の活動のまとめが予定されています。コロナ禍で活動が縮小されましたが、さまざまな体験をした時間は子どもたちにとって貴重なものとなった



▲ 収穫したサトイモに興味津々

のではないのでしょうか。

令和3年度笠懸地域文化祭

企画広報部員大募集!!

～みんなで文化祭を盛り上げよう～

企画広報部員の主な仕事 /

- ・文化祭全体の企画および運営
- ・企画広報部によるイベントの企画
(昨年度はMAY'Sコンサート、ダンスライブ、ボルダリングなど)
- ・地域の皆さんへポスターを配布し、文化祭を周知
- ・当日はスタッフとして、会場全体の盛り上げ役



▲ 昨年度の様子

クリーン作戦・日赤研修会 笠懸町婦人会



▲ 落ち葉を拾う婦人会の皆さん

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、笠懸町婦人会（曲澤節会長）の活動も年間計画のほとんどが中止となりました。

そんな中、3密を避けて恒例となっている年3回のクリーン作戦を実施しました。

11月7日（土）、21人の会員がほうぎや熊手を持ち、笠懸公民館の駐車場と笠懸野文化ホール（PAL）周辺の掃除をしました。たくさん枯れ葉を集め、ほこり

だらけになった会員の額には汗がにじんでいました。

その後、サークル活動室に移動し、日本赤十字社（日赤）の映像を見ながら研修会を行いました。毎年、太田市や前橋市で災害時の怪我の手当等の研修会に参加し、勉強をしていましたが、今年は皆中止になり、今回は笠懸町婦人会独自の研修となりました。研修ではDVDで新型コロナウイルス感染症蔓延下での災害救護活動や、タレントの貴島明日香さんの日赤リポートを観ました。需要と供給限られた医療の中での心のケア、親身になって寄り添う日赤のボランティアの姿に大変さと、人の心の温かさを知り、会員は感動していました。

災害の無い穏やかな日々を願い、新型コロナウイルスも早く収束することを祈ります。

伝統文化を子どもたちに ぐんま子ども郷土芸能祭り



▲ 新井八幡宮獅子舞保存会の獅子舞

地域の貴重な伝統文化を守り、現代に継承する子どもたちによる芸能公演を行うぐんま子ども郷土芸能祭りが12月5日（土）みどり市大間々町のながめ余興場で開催されました。

この日は第一部、第二部に分かれ、3団体の子どもたちが、獅子舞、民謡、神楽を披露しました。

また、日本文化体験ワークショップ「はじめての日

本舞踊」に参加した9人の小学生による長唄「菊づくし」も披露されました。

みどり市重要文化財である「ながめ余興場」は昭和12年に建てられた木造2階建ての劇場です。伝統と風

情があるこの劇場は、郷土芸能を発表する場としてうってつけではないでしょうか。

新型コロナウイルスの感染対策で外出自粛をしている人も自宅でゆっくり公演を楽しめるよう、後日YouTubeチャンネル「ぐんまアーツ」で配信されるそうです。

「かさかけ公民館だより」を一緒に作りませんか？

かさかけ公民館だよりとは

公民館活動や学習情報、地域の身近な情報を発信し、市民の学習文化活動や地域づくりに役立てるために笠懸公民館が発行している館報です。

応募資格

- ・みどり市在住・在勤
- ・取材・記事の執筆、校正などの編集作業が可能な方

主な活動内容

- ・かさかけ公民館だよりの企画と編集
- ・取材と記事の執筆
- ・月3回の会議（企画、編集、校正）

※詳細は笠懸公民館までお問い合わせ下さい

こえの ひろば

投稿

不思議な出会い

御朱印レディー

導かれるような出会いに
運命の不思議を感じます。
実は先日、私の絵画好きを
知った友人から1枚の絵を
頂きました。その絵はとて
も素晴らしく樹の生命を強
く感じ感動しました。しか
し、あまりにも大きく(約

このコーナーは、市民の
みなさんの交流の場です。
サークルの会員募集やイベ
ントのお知らせ、投稿など、
何でも原稿をお寄せくださ
い。(しめきり毎月10日)

120cm×90cm)残念です
が我家に飾るのは難しく、
幸いにも油絵の裏に描いた
場所と作者の住所氏名と平
成11年に描いたと明記され
ていて、場所は安中市の
“とあるお寺”でした。そ
こで、御朱印を頂きながら
絵を譲り受けて欲しい旨を
伝えましたら「是非に」と、
そして「本堂へ飾りましよ
う」と言っておきました。
うれしくて翌々日、絵を届
けました。ご住職はお母様
で、ご朱印を書いて下さっ
たのが、息子さんの副住職。
お二人はとても穏やかで、
素敵な親子でした。

絵を描いた場所へ行き、
しばらく眺めていました。
春には桜、秋には彼岸花が
咲くそうです。

お礼にと御香を頂き、そ
の匂いが車の中に香り、と
ても心が癒されました。

今度は飾られた絵を観に
訪ねたいと思います。

投稿

編集長の一言

FUYUUMI

うららかな小春日和の11
月22日(日)いい夫婦の日、笠
懸公民館職員の高野主事が
結婚式を挙げました。

このコロナ禍で暗いニュ
ースばかりですが、明るい
ニュースは良いものです。
幸せをみどり市民にいつ
ぱい届けてください。



笠懸短歌サークル

十一月例会より



平らかな心で日々を送れずに八つ当たりせし夫に菓子買ふ

「村度」の次は「俯瞰」の字と意味をせつかくだから皆で覚えよう

茄子殻を燃やすをためらひ思案して結束しつつ山積みなせり

新聞やテレビが報じる略外語解せぬ私はアナログ人間

八十四歳思ふがままに農に生き突然の死を友と見送る

秋空に朱くかがやく柿を穫る頬張る客の笑顔思ひつつ

秋の蚊のここぞと決めし戦略かドラマに見入る僅かの隙を

上村 征子

上山 利夫

橋内 文夫

久保田茂子

近藤ふさ子

関口 定夫

平山 勇

防災を考える③

「アプリ」

お手軽な防災として、
スマホのアプリをお勧め
します。お手持ちのスマ
ホに1つか2つくらいは
防災アプリを入手してお
くと便利です。また、ツ
イッター、インスタグラ
ムなどでも防災を扱った
サイトをフォローしてお
くと情報だけでなく、イ
ベントやグッズ、動画な
ど役立つものがあります。

ンネルを合わせdボタン
を押すと防災情報や気象
情報などが見られます。
注意したいのはフェイク
ニュースやデマ。間違っ
た情報に流されてツイ
ットペーパーを買い占め
るのではなく、隣近所や
友達を思いやるゆとりを
危うさと隣り合わせの今、
いざ本場に災害が起きた
時モラルある行動ができ
るように、日頃から備え
ましょう。

おすすめアプリ

*みどり市防災ナビ

*Yahoo!防災速報

*NHKニュース・防災

*東京都防災アプリなど

四季の会 十一月句会



休日は掃除せんたく炬燵守り
 先住の猫にちよつかい冬座敷
 妻の編む手作りマフラーちよひ派手目
 大き目の万古の鉢に花八手
 好物を供へる母の忌恵比須講
 ほくほくの焼芋ほふばる至福かな
 集落は老人ばかり葦を刈る
 高熟の吾子を抱き締め冬の院
 冬の霧ローカル線の始発駅
 朝散歩夫に供へる烏瓜
 吾が猫やルンバに追はる冬の朝
 ペイペイでコーヒータイム冬の空
 再会の指切りげんまん冬の星
 枯れ葦や鷺の降り来る阿左美沼
 銘仙の古着を売りし冬の市
 賑やかに千歳飴さげ孫来たる
 枯薄原野に大きく波を打つ
 マネキンの目深にかぶる冬帽子
 老楽の君は人妻冬の星
 冬桜社の庭を賑やかし
 小さき杉玉つるし濁醪仕込みをり
 指先のネイルの予約クリスマス
 冬紅葉夫の葉を数へをり
 大鍋で大根くつく炊きにけり
 魯田の鳥の一斉両毛線
 きざはしを登りつめたる冬の寺
 餌ねらふ青鷺一羽川に立つ
 人住まぬ空家にゆるる枯薄
 しぐるるや雲水の道はてしなく
 早咲きの椿一輪小間の床
 病める身の検査入院花八手
 冬紅葉犬の散歩の歩を伸ばす
 繋がらぬスマホ何度も時雨の夜

佐藤 小春
 東宮 春水
 川岸 星漢
 吉田 和義
 糸井 初音
 徳田 夕子
 糸井 梅光
 新羅 光海
 冠 二郎
 村田 小町
 金井 漢江
 村田 紅蘭
 韓 百日紅
 石原 青蓮
 山本 草秋
 楮沢 春蘭
 金井 光順
 富田 和
 遠藤 勝龍
 童 鳥海
 糸井 佳酔
 中谷 邦女
 高野 光詢
 金井 英磨
 家住 紫香
 窪田 劍邦
 中谷 幸寿
 前原 紫蘭
 小林 狐一
 小林 華笑
 宇野 由希子
 宇野 勘大
 金 光月

投稿

みどり市スケッチ vol.3

「袈裟丸山」萩 芳岳

みどり市に座する最高峰の山は袈裟丸山(標高1878m)です。通称、前袈裟と呼ばれています。袈裟丸山は連峰で南から北へ前袈裟丸山、後袈裟丸山、中袈裟丸山、奥袈裟丸山(標高1958m)と連なっています。みどり市内の高台に立てば、その双耳峰を望むことができ群馬百名山の一つで、日本三百名山にも選定されています。

登山口はいくつかありますが、ガイドブックで紹介されているルートが無難です。筆者が初めて袈裟丸山に足を運んだのが1962年の4月、当時の山行記録に賽の河原から膝までの残雪に難儀したと記されています。当時は折場からの登山道はなく、塔ノ沢から寝釈迦を経て頂上に向かったものです。これまで、二桁以上歩いていますが賽の河原からアカヤシオの開花期

や小袈裟丸山の鞍部から山頂にかけてのシヤクナゲの群落、とても捨てがたい光景です。汗をかいて登ってきた人への「褒美ですね。また、後袈裟丸山の岸壁に咲く淡いピンクの雪割草サクラソウに感動させられたこと度々でした。時間と体力がある人は庚申山まで縦走してみたらどうでしょう。ただし、地図読みので

ちよつと一息



午前10時、義姉の所に行く。ベットで嬉しそうに迎えてくれる義姉に「朝ご飯食べた？」と聞くと「食べてないよ」の返事。要介護5の義姉は、すっかり忘れてしまっている。泊り込みで介護していた夫がニコツと笑う。4ヶ月の入院で認知症が進んでしまったのだ。デイサービスやショートステイを利用しながらの介護。退院が決まってからオムツの取り替え方、口腔ケア、食事療法等を教わった。「俺が見る」なんて豪語

きることが必須ですが。していた夫。みそ汁一つ作ったことがない人に見える訳がない。「身体介護はできない」と言った私の代わりに、汗をかきながら真剣にオムツの取り替えを習っていた。その姿に負けて私も折れた。姉を思う優しい夫と、夫を早くに亡くし子どもいない一人ぼっちの義姉に今、できることをしてあげよう。入院中険しい顔だった義姉も今は嘘のように笑顔だ。まだ介護かけ出しの私たちだけでも、義姉の笑顔に救われている今日この頃である。



▲ 鹿田山フットパスから見る袈裟丸山

(長)